

村政を問う 一般質問 8

新年度の事業計画と予算編成は
中国都市と姉妹提携の考えは
庄屋まるはち食堂営業状況は
上下水道と農業集落排水事業は
原発風評被害損害賠償請求すべき
各種基金の積立目標額は

はろば
白馬
議会だより
99号

平成24年 1月31日発行

第4回定例会 1

議会研修視察実施報告書 2

議決結果 7

私の思い出 14

わたしのひとつ 15



長野県スキー発祥100周年記念イベント

(八方尾根スキー場 第14回レディーススキーヤーズパーティ) 1月25日

1万6千円を増額

歳入歳出総額は46億1824万1千円に

* 報告

* 条例の一部改正の議案

* 一般会計・水道事業会計の補正予算の議案

* 請願・陳情

* 附帯決議

* 一般質問

2件

5件

2件

2件

1件

6名

本会議での質疑

このような質疑がありました。

● 議案第47号平成23年度一般会計補正予算(第4号)

問 (篠崎久美子) スポーツ事業振興費の委託料10万円

の委託業務の内容は。また建設する際の経費の概算は。

答 (スポーツ課長) 白馬ク

ロスカントリー競技場
活用検討委員会から報告された陸上競技場とサッカーコート等の整備にあたり、スポーツ課内に専門的知識を

付帯決議

持った職員がいないため、経費等の概算について外部に委託する経費です。

議会は、議案第47号平成23

年度白馬村一般会計補正予算(第4号)を可決しましたが、

これについて付帯決議を行いました。

付帯決議の内容は次のとおりです。

● 議案第47号平成23年度白馬村一般会計補正予算(第4号)に対する付帯決議

今回、村長から提案された、

平成23年度白馬村一般会計補正予算(第4号)の2款総務費

7項スポーツ事業費

3目スポーツ事業振興費の11節委託料の

10万円の増額補正は、

スノーハープの今後の方針を立てるための

資料作成調査費用であるものとする。

どのような事業を施行するかについては、

調査結果を検討し十分な議論を尽くすことを強く求める。

この条例は、村と村民等の責務を明らかにしたうえで、暴力団排除に関する具体的な施策を定めることにより、村民の安全で平穏な生活を確保し、事業活動の健全な発展に寄与するために策定されました。

白馬村暴力団排除条例が制定されました

この条例は、村と村民等の責務を明らかにしたうえで、

暴力団排除に関する具体的な施策を定めることにより、

村民の安全で平穏な生活を確保し、

事業活動の健全な発展に寄与するために策定されました。



河津町議会との研修懇談会 (河津町役場) 12月1日

た。すでに都道府県ではすべて制定されていて、各市町村も制定されつつあります。

条例の基本理念

暴力団を恐れない

暴力団に金を出さない

暴力団を利用しない

+

暴力団と交際しない

※3P総務社会委員会を参照

平成23年度 一般会計補正予算 (第4号)

1億2361

神城山麓線に1億150万円増額

議会研修視察実施報告書

視察研修の目的

① 地方分権の中で、二元代表制を敷いている日本の地方自治では議会のあり方が重要になってきていることは確かである。議会運営の懸案事項について、姉妹都市提携している河津町の議会を訪問して意見を出し合い協議をする。

② 有害鳥獣による被害は日本の山間部を抱える市町村で大変問題となっている。白馬村でもここ数年、有害鳥獣による被害が増加している、その対策として電柵の設置などが講じられているが、費用が多額であることと管理が煩雑であることなどの面があり、農作物の作付けに大きな影響を及ぼしている。そんな中で、イズシカ問屋は、猟友会と連携を取りながら、シカ肉を特産品にすることを目指している根強い固定販路を持っていると聞く。伊豆市役所の協力を得ながら先遣地を視察して現状を見る。



東京ラスク伊豆ファクトリー売店（伊豆市） 12月2日

③ 東京ラスク伊豆ファクトリーは、平成23年6月に、市役所だった建物を改装して工場と売店を作ったオープンした。

ラスクが製造される様子がガラス越しに見学できる。東京ラスクとしては、伊豆では唯一のショップであり、カフェの併設や、ケーキ作りの教室も開設。大消費地に遠い伊豆市になぜ出店したのか、高速交通網に近接していない中、どのように販路の拡大と確保をしたのかなどを視察するとともに、当村での企業誘致の可能性を探る。

視察研修実施者

議会議員 10名

視察研修場所

- ・河津町役場 議会
- ・伊豆市 イズシカ問屋（有害鳥獣対策施設）
- ・伊豆市 東京ラスク伊豆ファクトリー（産業振興施設）

視察研修日程

平成23年12月1日（木）～2日（金）

視察研修経費

収入	
・公費	22万4547円
・自己負担	3万2510円
・合計	25万7057円
支出	
・宿泊・交通費等	17万6197円
・お土産他雑費（河津町議会、イズシカ問屋、東京ラスク他）	8万860円
・合計	25万7057円

研修視察内容

・河津町議会との懇談
河津町役場で姉妹都市交流会を兼ねた視察研修を行い、議会の概要や主要事業の概要等の説明を受け、質疑と意見交換会を行った。

来年度、姉妹提携30周年を迎えることでもあり、親睦感のある雰囲気での会議となりました。昨年建てられた給食センターについては、老朽化している村の共同調理場の建て替えを考える場合、参考にしたいと思えます。また、幼稚園と小中学生1人月額1000円を給食費に助成するため



イズシカ問屋の工場見学 (伊豆市) 12月1日

市提携30周年の展示がされていました。

・イズシカ問屋(伊豆市食肉加工センター) 視察

センター長によると、施設設置の目的として、「伊豆半島地域におけるシカの生息数は約2万2千頭(平成21年度末)と推定され、被害額は年間約1億円以上、毎年2千頭近くのシカが捕獲され、その多くが山へ埋められて

800万円ほどが計上されるなど、全体的に子育てに重点を置いている印象を受けました。副町長に静岡県職員が派遣されており、県との太いパイプでつながれているとの説明でした。議場は、議会開催の時だけ机、椅子を配置し、傍聴席は議員のすぐ後ろに椅子を並べ、議会終了後は普通の会議室に戻るとのことです。一階ロビーの一角には、白馬村の展示コーナーがあり、パンフレットなどがきちんと整理され並べられており、姉妹都

いる状態であった。命あった動物を最大限に有効利用することが大切であると考え食肉加工センターを建設し、伊豆市の新たな特産品とすると同時に狩猟者の捕獲意欲の増進につなげるために」との説明がありました。

一定の捕獲頭数の確保や、専門的な技術を有する従事者の必要性、販路や収益性の問題などがあり、当村で考えた場合に、同様のかたちをとることはなかなか難しいのではないかと、この印象を受けまし

た。

・東京ラスク伊豆工場

社長が伊豆出身という縁から、当初地元からの「反対もあったが、観光事業に協力することを条件に、伊豆市合併後の旧天城湯ヶ島町廃庁舎を一般評価よりも安価で10年契約で借り受ける。工場は、既存の庁舎の広々とした間取りをうまく利用し、ラスクの生産工程の見学もできる。現在、地元従業員雇用は30名。ご当地ラスクとして大人気の、伊豆工場直売所限定の「伊豆天城ラスク(わさび味)」を開発、販売している。地元菓子組合とも共存を図り、店内には地元商品も置いている。地場産朝市の開催もして、現在は市からも全面協力を受けている。

工場の場所は、高速から1時間以上もかかるうえ、山中という状況であるが、広い駐車場があるので大型観光バスの乗り入れもでき、周辺観光のスポットになりつつある。同様の立地条件である当村でも、企業誘致の可能性を感じました。

このような審議がありました

総務社会委員会

議案第44号白馬村暴力団排除条例の制定

暴力団の排除について基本理念を定め、村、村民及び事業者の責務を明らかにし、村民の安全で平穏な生活の確保、及び社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とする。

問 条例はどの程度まで施行されているのか。

答 県レベルでは全国で施行されており、暴力団排除の推進に協力するという意味で、村も条例を作るのは当然だと思います。

問 警察との連携が大切では。

答 背景には、警察にまかせっきりだった暴力団対策に住民の声をあげて、協力してもらいたいということもあると思います。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

議案第45号白馬村税条例等の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴うもので、主なものは、不申告にともなう課料の金額が3万円から10万円に改正するもの。▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

議案 第46号 白馬村都市計画税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴うもので、条項の番号を変更するもの。▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

議案第47号平成23年度白馬村一般会計補正予算(第4号)

予算に歳入歳出それぞれ1億2361万6千円を追加し、総額を4億1824万1千円とする。

職員のみ共済組合の負担割合の変更に伴う一般管理費14万9千円、通地区電柱移設に伴うケーブルテレビ白馬の配線移設工事に282万5千円、新入団員の備品と非常時使用のLEDヘッドライトの購入代金で、63万2千円、防災ハザードマップ作成委託料と、孤立集落のための衛星携帯電話、非常用電源の購入費用に289万円の増額。

戸籍住民基本台帳広域システム共同化により、従来のリース料の一括返還に、57万7千円の増額。

スノーハープクロスカントリー競技場の調査費用に10万円、中学校学習指導要領の改訂による教科書代と指導書、CD・DVDの備品購入費に215万8千円の増額。

問 孤立集落とはどこか。

答 立の間・通・青鬼・野平・嶺方で、道が寸断されると行き来ができなくなる恐れがある集落という限定がされています。

問 防災ハザードマップの配布は。

答 基本的には全戸配布だが、まずは行政区単位で配布予定です。

問 積雪のある時期にスノーハープ競技場の調査をするのか。

答 将来の方向を見定めるための調査費であり、これまでの調査と合わせ冬の間に検討するものです。

問 陸上トラック化に向けた検討では。

答 現在の競技場利活用のための基礎調査、検討のための費用であり、陸上トラック化に限っていません。

問 陸上競技場が必要なのか。

答 スノーハープ利活用検討委員会から、「陸上競技場のタータン化等の整備を図る」と答申されています。

水はけの悪さもあり、要望に応え、前向きに取り組むためにも調査をし、協議を重ね、庁内でも検討を積み上げていくものです。

意見

スポーツ事業振興費10万円の増額に関して
*まだまだ、話し合っていない

い。

*建設のために調査するといふのはいかがか。

*前回の一般質問に陸上競技場と答弁している。陸上競技場ありきでは認められない。

*競技場にするか、現状に戻すのか、検討するためにも資料の提示が必要なのだから、調査が必要。

*認めるにあたり、附帯決議を付けるべき。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●附帯決議をつけることに
関して

▽委員全員の賛成により可決。
●請願第8号「白馬山の日の制定」を願う請願書

意見

*白馬の文化として山の講に感謝するお祭りもあり、貞逸祭、開山祭も開いているが、他の地域でも制定の動きがみられる。

*目的とするところが休日とするのか、白馬の山の日を制定するのか検討すべき。

*山岳関係者とも協議が必要。
*山の日の制定ということの対してその趣旨には賛成する。
▽委員全員の賛成により、趣旨採択すべきものと決定。



白馬・小谷議員研修懇談会（八方 山とスキーの総合資料館） 11月28日

産業経済委員会

議案第47号平成23年度白馬村一般会計補正予算(第4号)

汲み取り量の増に伴う雑排水収集処理委託料13万3千円、空間放射線測定器1台の備品購入費に56万円の増額。

粗大ごみ集積場の不用額として塵芥処理委託料135万7千円、ごみ集積場設置補助金60万円の減額。

森林整備事業に274万円、有害鳥獣被害対策事業に49万8千円の増額(4月に熊の人身事故があり、猟友会の出勤が多かった。銃の免許取得に2万円、更新に1万5千円を補助。猟友会員が減っており支援が必要)。



白馬・小谷議員研修懇談会での講演会(浅野八十二銀行白馬支店長)

岳の湯の耐震診断費用に84万4千円増額。
道路新設改良費1億154万5千円増額。(うち国の第3次補正により国庫補助事業神城山麓線実施設計委託料に600万円、工事請負費に9300万円、電柱移転補償費に250万円)

問 空間放射線測定器の具体的な活用は。

答 公共施設は定期的に測定し、個人住宅等は希望により行います。

問 観光で生きる村の安全安心を積極的に情報提供します。

問 食材を検査できる機器なのか。

答 できないが、学校給食は県教育委員会に検査を依頼します。

問 岳の湯活用耐震診断費84万4千円は高いのでは。

答 長野県建築事務所協会の見積りによります。
問 委員全員の賛成により原案のとおり可決すべきものと決定。

議案第48号平成23年度白馬村水道事業会計補正予算(第1号)

収入、営業収益160万円増額し2億9514万3千円
支出く営業費用208万5千円増額し2億7912万1千円

▽委員全員の賛成により原案のとおり可決すべきものと決

定。

陳情第8号地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の村内ルートについて

1 地域活性化 観光並びに商工業振興のために、JR大糸線より東側ルート案での建設促進を強く要望。

2 緊急輸送路として自動車専用道路並みの整備。

3 既存の道の駅は駐車場が狭いなどの難点があるため、新たな道の駅の設置を要望。

提出者に出席願ひ、質疑に入る。

問 松本糸魚川連絡道路建設促進白馬村実行委員会より平成22年1月21日付けの要望書ルート案は実線だが、今回は○で示されている違いは何か。

答 (提出者)委員会では、今ルート案に対して関係機関より、「技術的工法やコスト面などから余裕を持たせた範囲で示してほしい」との要望がありました。大町商工会議所の陳情もルート案が○表示されており大町市議定例会で採択され、同じ商工団

体として参考にしました。

問 過去に要望書が村にも出ているが、県に対しての対応は。

答 (行政) 県は小谷道路雨中地区を先行し、豊科インター周辺整備に集中しているため、村としては具体的なことはしていません。

賛成討論

* 提出者が、各団体、地区の要望を受けて、一刻も早くとの思いで提出したものであり賛成。

* 以前からの住民要望であるが、村の動きが止まっているとの提出者の思いがあり、行政の積極的な姿勢を求めるものであり賛成。

意見

* ルート案については、幅を持った○印で出ており、経済性、地元住民とのコンセンサス、環境面の配慮など、関係者、関係機関と十分協議をした上で進めるよう要望。

▽反対討論はなく、委員全員の賛成により、採択すべきものと決定。

● 12月定例会 議決結果 ●

件名	議決結果
夢白馬施設条例の一部を改正する条例の専決処分報告	【報告事項】
公用車両事故に係る損害賠償の専決処分報告	
白馬村暴力団排除条例の制定	可決(全員賛成)
白馬村税条例等の一部を改正する条例	
白馬村都市計画税条例の一部を改正する条例	
一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	
白馬村政治倫理条例の一部を改正する条例	
平成23年度白馬村一般会計補正予算(第4号)	
平成23年度白馬村水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第47号白馬村一般会計補正予算(第4号)に対する附帯決議(案)	

● 請願・陳情 ●

(敬称略)

提出者	住所	要旨	付託委員会	審査結果
宮澤敏文後援会 会長 津滝 和生	白馬村	山の恩恵に感謝し、里山・山岳の自然とともに共生して地域づくりをする村民挙げての決意のため「白馬山の日の制定」を願う請願書(継続審査)	総務社会	趣旨採択 (全員賛成)
白馬商工会会長 西沢 信男	白馬村	地域高規格道路松本系魚川連絡道路の村内ルートについて	産業経済	採 択 (全員賛成)

長野県知事・建設部長
への要望を実施



長野県知事へ要望(県庁 知事第3応接室) 1月10日

平成24年1月10日(月)午後4時45分から、白馬・小谷議員大会の決議を受けて、小谷村議会とともに、下川議長・松沢副議長・田中産業経済委員長の名が、県庁で知事・建設部長に要望を行いました。

● 地域高規格道路「松本系魚川連絡道路」の早期調査の完了、ルート案の決定、早期の事業化

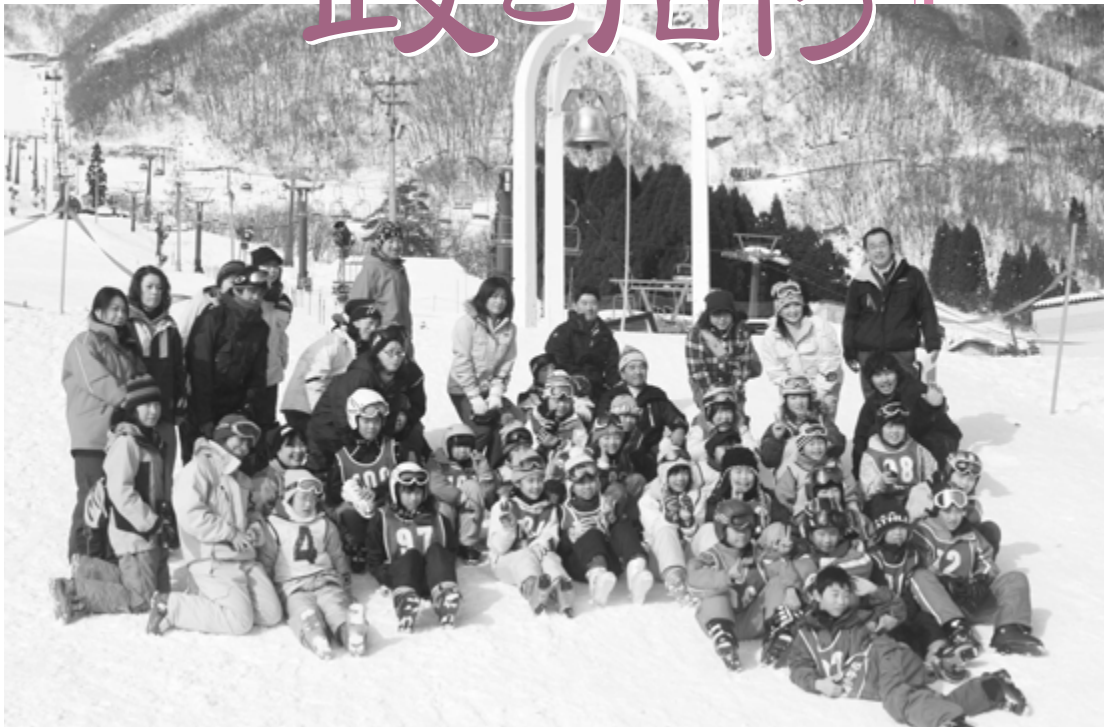
● 砂防事業関係では、次の事業の促進

白馬村では、通常砂防事業の北境沢みそら野と雪崩対策事業の飯田地区

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして



河津東小と白馬南小とのスキー交流会 (白馬五竜スキー場) 1月9日



長野県地方自治政策課題研修会 (県庁 講堂) 1月17日

予算問題

問 新年度の事業計画と予算編成は

答 住民の声を反映した事業と予算に



太田 修 議員

【平成24年度事業計画と
予算について】

主要施策は、

問

財政的な見地から判断し、住民の声を反映させるために事業の精査や収入の的確な把握を指示し、3月定例会で報告します。

問

マスタープラン構想の将来像に、「北部のスポーツレクリエーション活動を主体とした観光のまちづくり」とあるが、松川村有地の活用は、

村長

松川提内地に構造物等の制約があり、クリアする方向で検討しています。

問

災害時の状況把握と行政と地区の役割分担は、

村長

災害時に、住民一人ひとりの自助、地域の共助、防災関係機関による公助が必要です。住民の防災意識、地区では

災害時住民支え合いマップ等で、的確な情報伝達と迅速な避難支援が必要であります。行政は地区からの情報を一元的に管理し、関係機関との連携を密に、迅速かつ的確な災害援助に取り組みます。

問

地域高規格道路のルート素案は、

村長

区長や各団体等53組織からなる「松本・糸魚川連絡道路建設促進実行委員会」から議会と村宛てに要望書の提出があり、区長会に経過を説明し、議会とともに県に要望していきます。

問

局長就任時に託した内容は、

村長

新体制に基づいた運営に努め、会員とのコミュニケーション、情報公開の徹底、運営の透明性を高めるよう指示をしました。

問

県スキー発祥100周年やインバウンド事業等今季誘客宣伝は、

村長

100周年記念事業は、日から10日間スノースポーツに限定しない誘客施策として、白馬47スキー場で「かまくらフェスティバル」を開催、また、各スキー場の協力をいただき、来シーズンのリフトシーゾン券や宿泊補助券などが当たる「スタンプラリー」などを予定しています。インバウンド事業では、小谷村観光連盟と連携し、白馬山麓エリアとしてアジア圏の招

【この杜施設の
整備計画について】

へいに取り組み、また、首都圏を中心に15か所で宣伝活動を行いました。

問

総合拠点施設整備としてのトイレ改修と多目的周遊コースの整備計画は、

村長

平地観光の一翼を担う施設であり、整備充実は必要と認識しつつも、財政面等の問題もあり、関係地権者のご理解をお願いします。トイレ・建物等の老朽化を含め改修。また、周遊コースは姫川沿いに、白馬三山を眺望できるコースの整備検討を進めます。



100人トレイン（長野県スキー発祥100周年記念 八方尾根スキー場） 1月25日

観光問題

問 中国都市と姉妹提携の考えは

答 門戸を広くした誘客を推進



田中 榮一 議員

【誘客対策について】

福島第一原発事故を機に外国人観光客の宿泊キャンセルが相次ぎ、この冬も外国人観光客の大幅減が予想され誘客対策は急務である。インバウンド関連では、巨大市場である中国が鍵を握っていると想うが、中国国内都市との姉妹又は友好提携を含めた対策は。

村長

11月長野県主催のスノーリゾート信州冬季観光プロモーションに、副村長が中国へ村内観光業者と共に出席し、北京市関係者、現地旅行会社やスキー場等への

セールスを行ってきました。また、観光局は、JNTO(日本

政府観光局)の会員となり、JNTOからの情報提供を活用



住民の協働による伝統行事(飯田)

し、県とも協働して、中国からの誘客に努めてまいりたいと考えています。姉妹都市・友好提携という手法も一つではありますが、現段階では門戸を広くした誘客を推進していきたいと考えています。

「日本で最も美しい村連合」に登録する考え

村長

村の観光推進については、観光局を中心に、観光協会、商工会、索道事業者を始めとする観光事業者と連携し推進しており、景観と環境については、村環境基本条例、景観形成重点地域指導基準、色彩計画などの規程による指導、保全を図っており、加盟する考えはありません。

【区加入条例

制定について】

村として長年の懸案事項である、行政区未加入問題はコミュニティや住民自治を揺るがすものであり、

村民参加の協働の村づくりを進める上で重要な課題であると思う。加入を義務付ける条例の制定を検討すべきと思う

村長

条例制定を想定した場合、未加入者に対する罰則規定の有無や、法律上の整合性などを含めた議論をしていかないと、条例自体が形骸化する恐れもあり、先進事例を参考にしながら研究していく必要があると考えます。

【放射性物質

検査について】

問

村内小中学校が給食で使う食材について、放射性物質検査を実施しようとしている市町村が増えてきているが、村教育委員会としての考えは

長

長野県教育委員会では、教育委員会と連携して検査を実施し、安全の再確認及び検査結果を公表して、学校給食への理解や安心を図ることとしており、村教育委員会も検査依頼を希望しています。これに加え、保護者の皆さんに、主な食材の産地を、月初めに公表して参りたいと考えています。

観光問題

問 庄屋まるはち食堂営業状況は

答 観光局から民間に委託契約



篠崎 久美子 議員

【観光関連指定管理事業について】

問 庄屋まるはちの食堂部門の営業は。

答 指定管理者の観光局が王滝に委託契約しており、新たな契約期間は平成23年12月1日から平成25年3月31日までです。

問 村の庄屋まるはちの活用方針と指定管理者への方針依頼は。

答 長期滞在の外国人観光客や村内外の人のふれあいの場、日本文化体験施設として位置付けていて、観光局はこの方針に基づき文化体

験プログラムを実施してきました。

問 指定管理者からの事業報告書の提出状況は。

答 基本協定書にうたわれている管理報告、利用

状況報告、決算見込書の提出を局から月別報告として受けています。

問 オリンピック記念館維持管理事業は23年度事務事業評価でE判定だが、今後の事業展開は。

答 指定管理者は観光局で、村の今年度の主な経費は860万円程度、うち建物購入償還費は510万円、償還は平成25年までです。昨年度の記念館入場収入は280万円です。以前から観光局の場所の検討しており、事業評価を参考に総合的判断をして参ります。

【庁内体制について】

問 課ごとの業務量把握の様子と、課の再編成の

答 課の編成

の考えについては、現在在言える状況にはありません。予期せぬ職員

の休職、退職などには臨時職員で対応して

ているつもりです。

問 人材の育成についての

答 種々の研修に積極的に職員を参加させてい

ますが、人材育成につながっているとは言い難い状況です。来年度は、県観光部との交流派遣や、県地方税滞納整理機構への派遣を予定しており調整中です。

【エネルギー施策について】

問 19年度策定の地域新エネルギービジョンに基

づく取り組みは。

答 新しい取り組みはできず、主だった成果が上げられないところは反省点です。

問 BDF燃料(※)や小水力発電実用化への取り組みを考えては。

答 国の全額補助での農用小水力発電導入の研究結果が年度内に出る予定で、結果を受けて可能性の検討ができると思います。

問 環境配慮をすすめ、魅力発信をしては。

答 省エネへの取り組みは、観光イメージアップにつながるかと考えますので、今後可能性の研究をしていきます。

※BDF燃料(バイオディーゼル燃料。植物油脂や動物油脂などの再生可能な資源からつくられる軽油代替え燃料。



冬の歴史的古民家「庄屋まるはち」(新田) 1月25日

下水問題

問 上下水道と農業集落排水事業は

答 公平性を保ち安定した経営に努める



横田 孝穂 議員

【下水道事業について】

問 経営状況と今後の見通しは。

村長 現状は排水区域432・5ha、普及率90・1%、水洗化率75・4%です。建設事業費163億円、国庫補助金58億円、地方債84億円（残高62億円）、向こう10年間の年間償還額は4億7千万円です。計画では平成25年東部農集排水統合時に地方債の借入を行う以外大規模な予定はなく、今後も収入増を図り安定した経営に努めます。

問 平成22年度受益者負担金1億7900万円の

未済額処理対策は。

村長 未接続の土地に対する受益者負担金は法的には有効であるが、納入に対して理解が得られず、条例改正を行い、公平性を維持してきました。

建設水道課長 9月30日現在の未済額は、316件で1億5500万円。誓約書や内

入金による処理を行い、応じないようであれば差し押さえ可能な体制整備を検討中です。会社倒産、自己破産、行方不明等の徴収不可能物件は、今年度不能欠損処理の予定です。受益者負担金に関する条例改正の目的とその根拠は。

建設水道課長 負担金を支払った人

と、当面は接続をしないという考えで支払いに応じない人との、不公平感を是正し、5年を経過すると成立する滞納債権の時効を、差し

押えによらず防ぐことが目的です。未払い3年経過後は加入分金に賦課替えをし、1・5倍の1㎡当たり1350円です。現在、賦課替え件数は539件で7500万円となっております。

【スノーハープの現状と活用について】

問 利用率・維持管理費と今までの利用向上策と今後について。

村長 平成22年度利用者1万3300人、夏期7割

冬期3割であり臨時的経費を除くと1648万円余りです。野芝コートとして整備し貸出をしています。過去には圧雪車と雨天時の使用により芝に大きな損傷を受け、平成17年に1千万円程で養生しました。現在の球技利用は試合のみで1日3時間の制限をしています。利活用検討委

員会の提言内容は、水はけ対策、高低差のフラット化。メイン会場を400mトラック6レーン、100m8レーン、フィールド競技場を全天候（タータン）に改修。

備。ホタルの生育に係る施設改良も含めた東側法面等の整備。会場の出入口・スロープ等の整備やクロスカントリーコース沿いの森林整備等です。予備調査をし、将来維持管理費も考え財源は辺地債を予定しています。



白馬村浄化センター（大出） 1月26日

観光問題

問 原発風評被害損害賠償請求すべき

答 他市町村の動向も注視し対応する



小林 英雄 議員

【観光行政について】

問

福島第1原発事故の風評被害により、宿泊施設では予約キャンセルが相次いでだけでなく、今冬の予約も大きく落ち込んでいる。観光事業者の損害賠償請求を支援するのは勿論のこと、村としても税収の落ち込みについて損害賠償請求をすべきと考えるが、どのように対処するか。

村長

風評被害は行政が判定できるものではないので、照会があった場合は、東京電力福島原子力補償相談室の電話番号を紹介しています。



がんばる観光事業者（岩岳スキー場） 1月26日

税収落ち込み分の損害賠償請求については、税収減額の根拠データが必要となりますし、これまでに例がない事案ですので、請求は難しいと思います。他市町村の動向も注視しながら対応を考えたいと思います。

問

村の観光関連の諸データを、もっと充実すべきと考えるが、どのようにして、観光客数、宿泊の有無、性別、年齢別、地域別等を集計しているか。

村長

観光客数については、スキー場など主要な観光地点の入込状況をまとめているにとどまり、宿泊の有無、性別などの調査は実施していません。また、県の発表数値も各市町村からのデータを基に作成しており、日帰り、宿泊、県内、県外、なども推計データとなっています。

【新ごみ処理施設 ことごとく】

問

広域連合の候補地調整の今後の進め方の「改めて選定方法を検討する」、また「地元理解の要素をより重

視し、思い切った手法の変更も含め、広範な検討を早急に行う」とはどういう方法か。

村長

「改めて選定方法を検討する」とは、順位をつけるのではなく、全体的に検討するということです。連合長は、「候補地として受け入れてくれる地域を探すのも一つの手法だ」と答弁したと記憶しています。改めて選定する方法、地元尊重の手法については、これからの広域議会の中で十分に審議していくことになるだろうと考えます。

【住宅リフォーム 助成について】

問

今年度実施した住宅リフォーム助成制度の経済効果は大きかった。まだまだ需要も多く、継続への期待が高い。新年度における制度の継続を強く提案するが。

村長

住宅リフォーム助成も含め、プレミアム商品券の発行、ローカル色を活かした取り組みなど他自治体の経済活性化の実践例などを研究するとともに、財政状況を考慮し検討したいと考えます。

施設問題

問 スノーハープの利活用は

答 調整する中で、陸上競技場に



太田 伸子 議員

【スノーハープについて】

問 第4次総合計画後期計画の中で、競技場の利活用について「陸上競技のタータン化等の整備を図る」とあるが、考えは。

スノーハープからは、スキークラブからは、「圧雪車両の使用許可」と「雪上にネット等の設置にあたり、ドリルによる掘削作業に支障が出ない構造での造成」、「スタート、フィニッシュエリア付近を水平にする場合は、周回コースからの導入付近の傾斜角度も合わせて造成」する。サッカー関係者からは「合宿等の受入れを長年



悪条件の中を走る選手たち（スノーハープクロスカントリー大会）

継続して行ってきたが、改修により使用できなくなる

と他市町村に移動する」、「コートが2面なくなるので

あれば、他に2面確保してほしい」「排水状態が悪く異臭がする」。また、陸上競技協会からは「同時に同種目のアスリートが利用できるため、利用人数の増に繋がる」「400mトラックとクロスカントリーコースとを併用すれば、高レベルの陸上競技となる」などの意見をいただいています。競技場活用検討委員会からの報告とこれらの意見を調整する中で、陸上競技場建設に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

【会計検査院決算

検査報告について】

問 村の国民健康保険事業の過大申請指摘事項について説明を。

答 国民健康保険の療養給付費負担金が877万2千円、財政調整交付金が230万1千円、合計11107万3千円が過大に交付されていると認められ、報告されたものです。

退職について、届出がない場合、県国保団体連合会から送られる対象者リストから該

当者を抜き出し退職の資格を取得した時点で遡り、給付の財源が変更となるため、次年度において控除や、申請を行わなければならないことになっていきます。しかし、日常業務の中でこうした遡及する事務処理を行ってこなかった為に指摘を受けることになりました。

問 国保財政に影響は。

答 平成20年度に清算して、指摘された金額の返還手続きに備えており影響はありません。

問 財政に影響がなくても、村の信用は。

答 大きく失墜させたことは遺憾であり、申し訳なく思っており、再発防止に努めてまいります。

【観光局について】

問 今シーズンの戦略について。

答 長野県スキー発祥100周年であることから、「白馬雪恋祭り」と題して雪

を最大限にアピールし各種イベントを実施いたします。

私の思い出



大出 内川 賀介

戦争の頃の思い出

私が小学校五年の時に、中国との戦争が始まった。私の担任の丸山佐門先生が、召集されて軍隊へ行くことになったことは忘れられない。

先生は教室へ来て、召集令状が来たので、皆さんと別れて軍隊へ行くことになったと話された。突然の話を聞き、女子は泣き出した。そして組中の者が、わんわんと大きな声で泣いた。先生は私達を音楽室へ連れて行き、荒城の月を弾いてくださった。

先生は私の手に握手をしてくれた。あの時の事は忘れられない思い出である。
次は私の小学校からの同級生だった深空出身の武田竹司君の事である。彼は生まれた時に母を亡くし、父親に育てられた。私とは大の仲良しで、よく遊びに来た。一緒に泊まって行った。彼と私は大町中学校へ入学した。昭和16年12月8日、日本は真珠湾攻撃を行い、米英との太平洋戦争に突入した。

戦況が激しくなると、私達中学生にも、海軍飛行予科練修生の募集があった。担任の先生は、皆んな予科練へ行くよう激励した。私達はクラス全員予科練へ行こうと決起した。武田君は予科練に応募し、中学4年で三重航空隊に入隊し、厳しい訓練を受け飛行士になった。戦争が不利になった頃、特攻隊に志願し、昭和20年4月沖縄で敵艦に体当たりして壮烈な戦死を遂げた。海軍の特攻隊の基地は、沖縄県鹿野屋にあった。
私は戦後この基地を訪れ、特攻隊で戦死された写真を見た。何百枚もの中から遂に武田君の写真を見つけた時は、そこを離れることはできなかった。お盆には毎年彼のお墓参りをし、線香を上げ安らかに眠れと祈っている。
私達同級生は19歳となり徴兵検査を受け、合格した者は軍隊へ行った。私は陸軍士官学校を受験し、合格して入校した。3月10日に東京大空襲があった。空襲警報が鳴り飛び起きて見ると、東京の空は真赤だった。この光景を眺め日本は負けるのではないかと、涙が出てきて止まらなかった。
昭和20年8月15日終戦となり、故郷へ帰って来た。四ツ谷の駅から歩いて帰った。家へ入り両親の顔を見た途端、涙が出てきて言葉が出なかった。戦争に負けて帰った悔しさからであった。
戦争は国家の目的の為に尊い命を失うもので、絶対にしるべきではないと思う。

白馬・小谷議員研修懇談会

平成23年11月28日 開催

視察場所

八方文化会館
八方総合資料館

*白馬・山とスキーの総合資料館を視察。

総合資料館長 丸山庄司氏

八方観光協会長 三枝兼径氏
から開館目的や運営状況等及び展示資料について説明をいただきました。

研修懇談会

研修懇談会

ふれあいセンター学習室

*昨今の銀行を取り巻く状況と私が見てきた逆境に立向う企業群

▽講師

・八十二銀行白馬支店 支店長 浅野 弘貴 氏

・ピンチな時こそ、知恵を絞り新しい事に挑戦する(せざるを得ない)時で、大きな飛躍の芽をつかむチャンス!

▽講師 宮澤 敏文 氏
*地域医療体制の確立と地域高規格道路の現状について

「地域完結医療体制」や「産業道路と生活道路の分離化」等による緊急医療対応と高速交通網などの確立に向け、格差のない地域づくりを!

▽講師 宮澤 敏文 氏

以下決議する。

- ①地域高規格道路松本系魚川連絡道路早期実現に関する決議
- ②治山・治水・砂防事業の促進に関する決議

白馬・小谷村議員大会

以下決議する。

- ①地域高規格道路松本系魚川連絡道路早期実現に関する決議
- ②治山・治水・砂防事業の促進に関する決議



夢、私たちに。 わたしのひとこと



前向きに…

蕨平 松沢 由美

2011年は、明るいニュースがない年でした。どうしても辛く嫌な事は、しつこく考えてしまいます。しかし、それは、解決に繋がりません。忘れてしまう事も一つの解決かと思えますが、そのためには新しい情報を脳に貯める、つまり、辛く嫌な事を繰り返し考える余裕を与えず、それをさせないために、嫌な事があつたら、美味しい物を食べに行くとか、家族と笑い合える会話をするとか、親友に会って全く別の会話に熱中する方法とか…。今の自分には、目の前の問題から前向きに考え、日々成長していく事しか出来ませんが、楽観的に、そしてプラス思考に考えていけたらいいなと思います。2012年が素晴らしい一年になりますように。



子育てに思うこと

沢度 吉沢 朋美

昨年、上の娘が10歳を迎え私の母親歴も10年を過ぎました。下の息子も今春から小学生。色々ありましたが、今となつてはあつという間です。マイペースでよくしゃべる娘と、「ママ、ママ」と1日に何回呼ぶんだと思うほど甘えん坊の息子。時にはついイライラしてしまいヒステリックに怒ってしまうこともあります。10年後、娘は20歳。自分の世界を持って自分の力で生活しているでしょう。息子は思春期真っ只中。これほどママと呼んでいる子が私とどれだけ話しているでしょうか。そう思うと二人こぞって私にまわりつくのもあと数年、ヒステリックを反省しなくては。そしてどんな大人になるのか、この10年よりさらに大切な10年だと思います。母親業はまだまだこれから。優しい心と強い気持ちを持った子に。しっかり子どもを見守っていきたいです。



自然との共生

落倉 服部 卓也

自然との共生といっても色々あります。野生の動植物との共生、自然現象との共生等です。地震や津波などの自然災害に対し、お金をかけて強固な構造物を造ったり、有害鳥獣に対し、狩猟で全てを排除すればよいというものではありません。そこには景観があつたり、自然との調和があつたり、生態系があつたりするからです。

このたび落倉の全線未舗装の通りが、役場と協議の結果、希少動植物と共生した道路づくりをしていこうとこことで意見がまとまりました。昔からの山道で公図も複雑だったり、地主さんも県外の方も多数いるなど問題も山積ですが、少しずつでも前に進んでいければと思っています。ここまでくるのに20年以上もかかりました。道路の舗装ひとつとってみても改めて自然との共生の難しさを感じています。

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は、3・11の大震災で多くの尊い命が失われ、多くの生活の場が一瞬にして奪われました。当村でもいろいろな形での影響が懸念されました。そして、注目された言葉は「絆」でした。子どもたちに残す未来の白馬村をつくるために、地域住民と行政や民間、議会等が、方法は違つても、目指す方向性を一にして歩んでゆく「絆」が大切と痛感します。本年も、議会だよりでは、諸先輩方のご努力の上に工夫を重ね、まさしく「絆」となる情報をお届けしようと思つています。本年もどうぞよろしくお願ひします。

(篠崎久美子)

議会報調査編集特別委員会

議長	下川 正剛
委員長	太田 修
副委員長	柏原 良章
委員	篠崎久美子
委員	太田 伸子
委員	田中 榮一
委員	小林 英雄
委員	松沢 貞一